

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		COCOa		公表日		令和8年 1月 22日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	25%	75%	必要では無い時間には片付けるなどしてスペースを広く使えるように工夫しております。	人員が不足している 個別のスペースが必要	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	0%	100%	職員の休日や体調不良な際には、待機している職員の招集などを行い対応しております。	人員が不足している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	視覚支援や絵カードの掲示などを行い、分かりやすい環境設定を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	クッションマットの定期的な交換や、日々の掃除など清潔を保てるように配慮しております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	25%	75%	体調不良や課題活動など必要に応じてカーテンで区切るなどプライベートを保てる空間を提供しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	25%	75%	参加できなかった職員等へは文章や口頭で通知するようにしております。	会議が必要	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	職員の会の議題にし、管理職や職員で周知を行っております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0%	100%	職員会など職員が発信しやすい場を設けております。	人員が不足。 全員が揃う機会が少ない。 話し合いの場が必要。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	25%	100%	現在は実施しておりません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	施設内や施設外での研修を受講し、他の職員へとアウトプットしております。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	職員間でご利用者様の情報や支援の内容についてミーティングを行い、作成しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	75%	25%	職員間でご利用者様の情報や支援の内容についてミーティングを行い、作成しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	75%	25%	月一回以上モニタリング会議を実施し、必要に応じて支援計画を見直すために懇談を実施し、最低でも半年に一回以上計画の作成、見直しを実施しております。	人数が少ない為、周知がしやすいと思います。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	75%	25%	計画に沿った支援内容となっているか職員間で確認しております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	75%	25%	必要な項目に応じて児童発達支援管理責任者が作成を行っております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	管理職、職員等でプログラムの作成を行っております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	週ごとに活動プログラムを変えるなどの取り組みを行っております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	ご利用者の必要に応じて計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	75%	25%	朝礼等を通じ当日の役割やタイムスケジュールを作成しております。	全員で集まれることが少ない。 打合せの機会が必要（個別は出来ている）
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	当日の気づいたことや共有すべき内容は朝礼にて他の職員へ共有しております。	もう少し頻度が必要。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録に残し、支援へと活かせるようにしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	75%	25%	必要に応じ見直し、作成を行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	75%	25%	個々に応じて対応し、支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	75%	25%	発信の方法として絵カードでの発信や言語の補助となるカードの使用を行っております。	
関係機関や	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達支援管理責任者だけでなく、現場の職員が1～2人以上、参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	他施設や関係機関等と日頃からコミュニケーションを行い連携しあえる関係を目指しております。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	25%	75%	現在は実施しておりません。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	現在は実施しておりません。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や電話連絡、連絡帳の活用などお互いの様子を伝えあうなど積極的にコミュニケーションを行い情報交換を行っております。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	現在は実施しておりません。	
	32	【児童事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				

保護者との連携	33	【 児発事業所・児発センターのみ 】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【 児発センターのみ 】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【 児発センターのみ 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【 児発センターのみ 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【 放デイのみ 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100%	0%	ご利用者様のご様子などを送迎時に情報共有を行っております。	
	38	【 放デイのみ 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	25%	75%	関係各機関との情報共有やつながりのある支援を目指すため、必要に応じ行っています。	
	39	【 放デイのみ 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	ご利用者様や施設からの求めに応じ行っております。	
	40	【 放デイのみ 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	担当者が参加させて頂いております。	
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	ご契約時には、【契約書】・【重要事項説明書】・【個人情報の取り扱い】等、不安が無いようご説明させていただきます。	
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	情報共有を行うために面談の機会を設けたり、送迎時に確認していくなど行っております。	
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	ご不安等が無いよう丁寧にご説明を行っております。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	75%	25%	施設から保護者様へと面談の場を持ちかけたり、保護者様からの求めに応じ相談等を行う場を設けさせて頂いております	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	現在は実施しておりません。	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	担当者やご連絡先等を契約時にご説明させて頂いております。また、相談や申し入れ等があった際には適切に場を設けさせて頂いております。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	SNS等を通じ日頃の様子や行事の内容等を発信しております。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	75%	25%	個人情報の漏洩が無いよう、書類の保存、知りえた情報の保持等、取り扱いには十分に注意しております。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	気持ちに寄り添いながらコミュニケーションを行い、必要に応じて支援ツールを活用しております。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	現在は実施しておりません。	

	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	職員間でも情報や内容を共有し、寄り添える助言や支援を行っております。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%	地震・火災・水害等色々な危険を想定した避難訓練を年2回行っております。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	危機に直面した場合に業務を復旧・継続するために必要な計画の策定を行っております。また避難経路や避難場所までの確認を避難訓練の際に行っております。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時や送迎時、連絡帳、面談等、保護者様から確認するようにしております。	
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	75%	25%	必要な対応や使用する物品等を事前に保護者様から確認を行い、必要な措置を講じております。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	ご利用者さま、ご家族様が不安を感じないよう安全管理には十分に注意し日々の支援を行っております。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	保護者様とは積極的にコミュニケーションを行い支援内容、取り組み内容等を共有しております。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	職員会の議題としてヒヤリハットの確認を行っております。小さなことなどでも危険として認知出来るよう職員間でも共有しております。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待が起こらない、起こさない為に職員の悩みやメンタルケア等を含めた施設として対応を行っております。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	身体拘束の方法や適切なタイミング、やむを得ない状況とは等、職員での理解が深まるよう研修などを行っております。	